

3福口第1343号
令和3年12月21日

3D モーションキャプチャー
使用者手引き
(第1版)

福島ロボットテストフィールド
令和 3年 12月 21日

改訂履歴

版	施行日	内 容	作 成
1	令和3年12月21日	新規作成	技術課 副主任 三枝芳行

目 次

1. 概要	1
2. 構成 装置 1 組分(全部で 2 組ある).....	1
3. データ出力.....	2
4. 使用上の注意点.....	3
5. 使用料	3

1. 概要

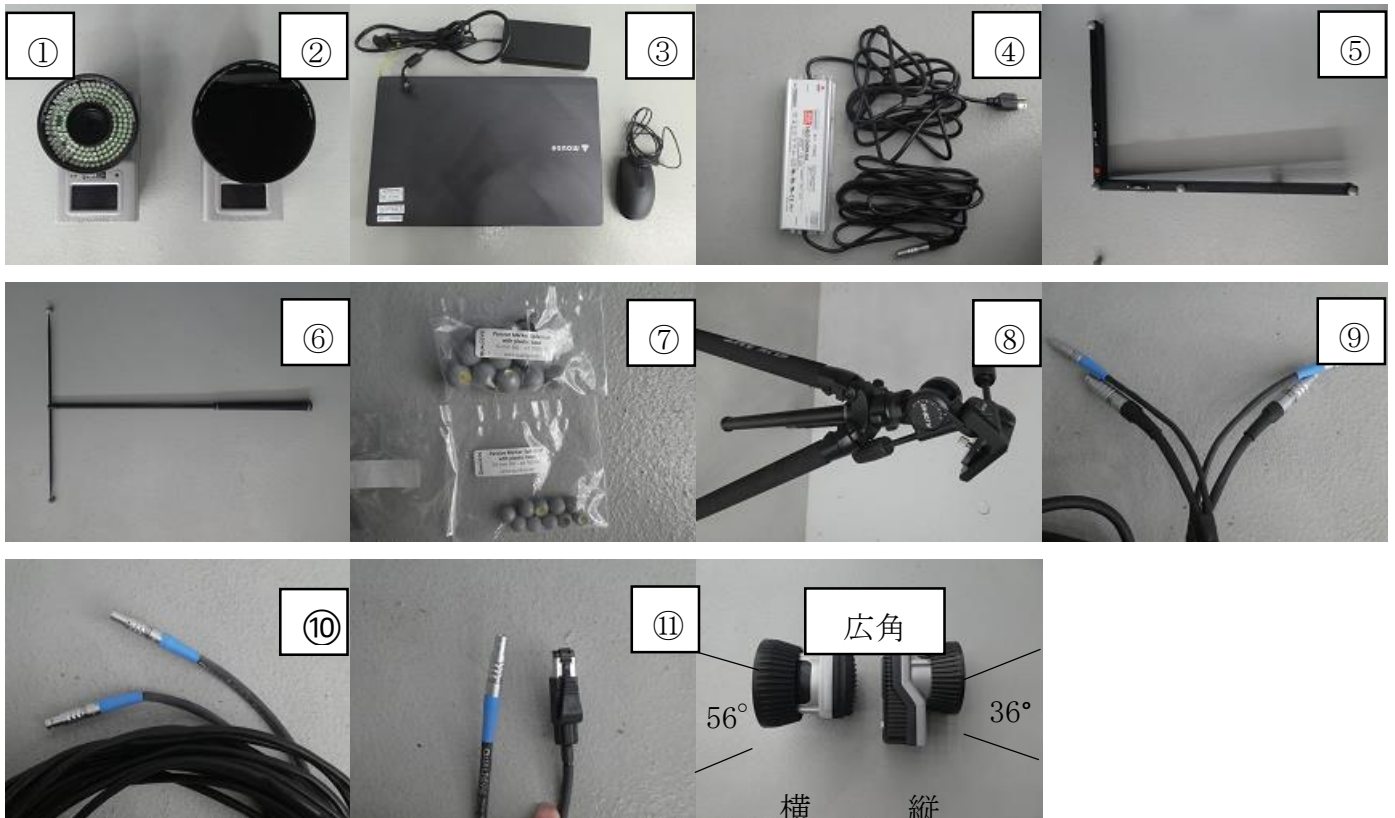
複数のカメラから赤外線が発せられ、マーカーが反射した赤外線をとらえることでマーカーの動きを三次元的にデータ化します。

そのため太陽光等赤外線の反射が多い屋外よりも屋内での使用が適しています。

詳しい使用方法はマーカー作成の取り扱い説明書をご参照ください。

2. 構成 装置 1 組分(全部で 2 組ある)

- ①映像用カメラ(ガラス部分透明)、1 台
- ②赤外線カメラ(ガラス部分黒)、8 台 ※赤外線カメラは最大 16 台で使用可。
- ③附属 PC1 式
- ④電源ユニット 2 台
- ⑤L 字マーカー
- ⑥T ワンド(先端部大、小)
- ⑦マーカー : 9.5mm、14mm(使い捨て禁止)
- ⑧三脚 8 台
- ⑨ハイブリッドケーブル<電源線と信号線>(カメラ同士の接続)
- ⑩信号ケーブル<信号線と信号線>(複数の電源ユニットを使用した際に真ん中を繋ぐ)
- ⑪出カケーブル<LAN コネクタと信号線>(カメラと附属 PC の接続)



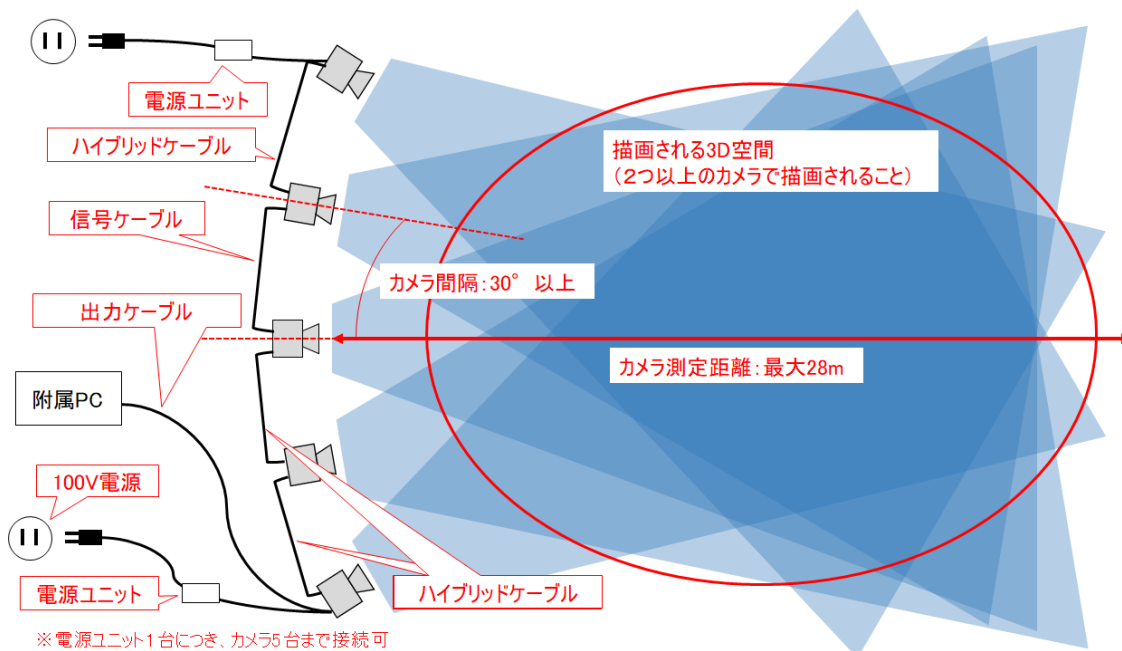


Fig. 基本構成

3. データ出力

測定したデータはモーションキャプチャーのバイナリファイル(C3D)やテキスト(TSV)、MAT のほか、動画(AVI)でも出力可能です。計測したデータを qtm 形式で保存することで、後から計測データを読み出すことができます。



C3D ファイル設定ウィンドウ



TSV ファイル設定ウィンドウ



MAT ファイル設定ウィンドウ



AVI ファイル設定ウィンドウ

4. 使用上の注意点

- ・この製品は赤外線カメラを使用しているため屋外では環境光等の影響により使用できない場合があります。
- ・この製品は耐水処理されていないため雨天での屋外使用は許可できません。
- ・カメラの配線を行う際はケーブルの負荷によりカメラおよび三脚が倒れないようご注意ください。
- ・ケーブルコネクタ部が地面に触れないようご注意ください。
- ・ケーブルを踏むと断線しますので踏まないようご注意ください。
- ・付属のパソコンはインターネットおよび USB の接続が禁止されておりますので、データの取り出し用に DVD-ROM 等をご持参ください。

5. 使用料

設備名	午前	午後	夜間	超過 1 時間
	(9 時～13 時)	(13 時～17 時)	(17 時～21 時)	(0 時～9 時, 21 時～24 時)
3D モーションキャプチャー	5,900	5,900	5,900	1,480